

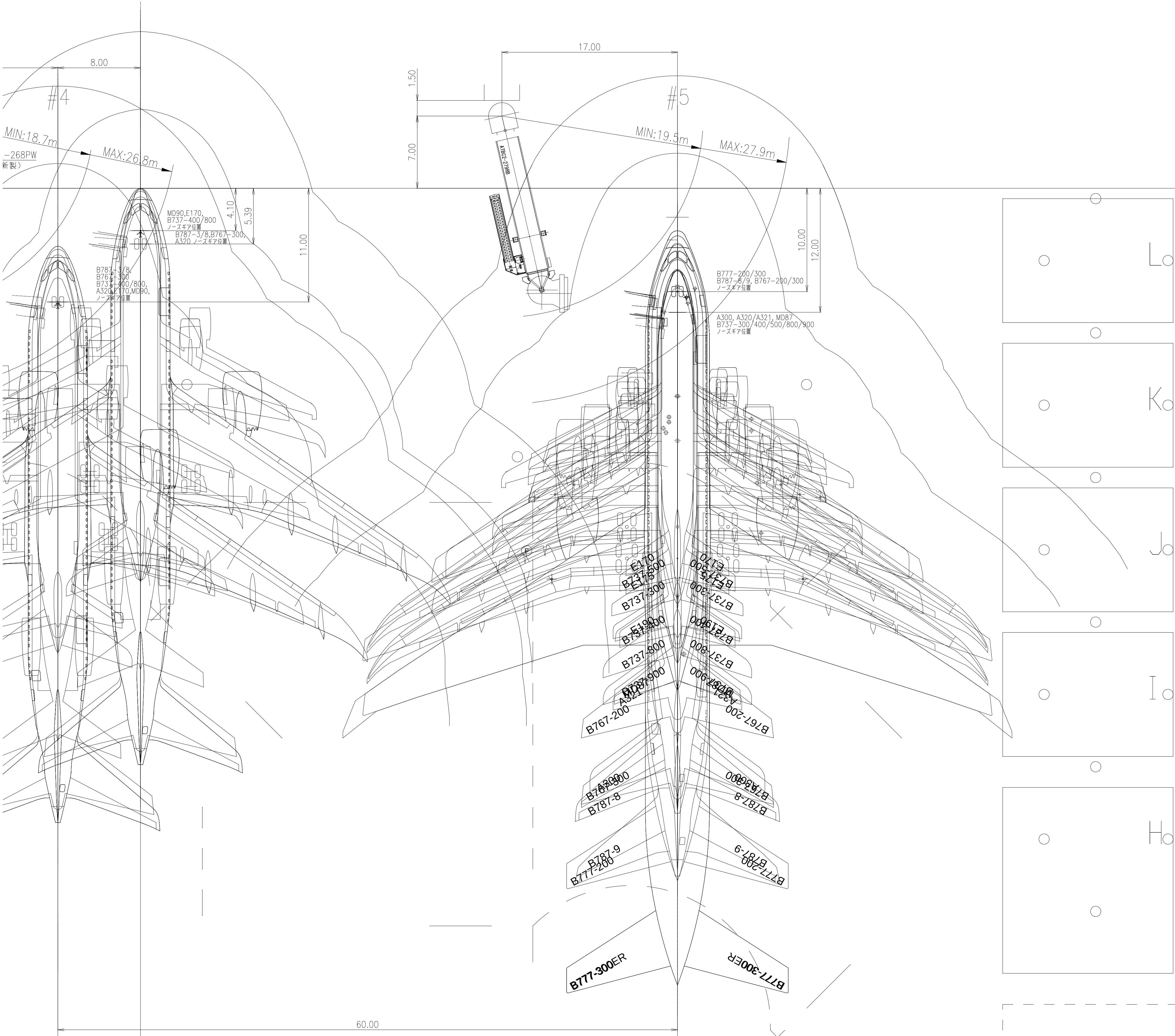
高知龍馬空港 新ターミナルビル特殊設備（PBB）

2025年 2月

図 面 リ ス ト

[illegible]

代表となる設計者 一級建築士 第364188号 山下 太郎	JAC・松田平田・MA設計共同企業体		APPROVED BY	DATE	SUBJECT 高知龍馬空港新ターミナルビル特殊設備（PBB）
	株式会社 日本空港コンサルタンツ 株式会社 松 田 平 田 設 計 株式会社 M A 設 計 事 務 所		CHECKED BY		DRAWING 図面リスト NO. - 00
			DRAWN BY	SCALE	



勾配表

航空機		#5スポット	
		2段トンネル式19.5m～27.9m	
		勾配	駐機位置(m)
E	B777-200	-1/18.9	10.00
	B777-300	-1/18.9	10.00
	B787-8	-1/36.8	10.00
	B787-9	-1/36.8	10.00
D	B767-200	-1/36.1	10.00
	B767-300	-1/34.4	10.00
	A300	-1/26.9	12.00
	A300-600	-1/30.3	12.00
C	B737-300	1/17.3	12.00
	B737-400	1/17.3	10.00
	B737-500	1/17.3	10.00
	B737-800	1/17.0	10.00
	B737-900	1/17.0	10.00
	A320	1/39.2	12.00
	A320neo	1/39.2	12.00
	A321	1/39.9	12.00
	MD-87	1/13.8	12.00
	E170	1/16.6	12.00
	E175	1/16.6	12.00
	E190	1/16.6	12.00

ロタンダ高さ：3.95m

注記 1。勾配値の“－”はビルから航空機へ向かっての上り勾配を表します。

注記 2。2ドアの航空機については、L1ドアのみの装着とします。

注記 3。#4にB787等コードE航空機がスポットインしている場合
翼端のクリアランスが確保できないため、#5にコードEおよび
B767をスポットインすることはできません。

注記 4。#4にB767等コードD航空機がスポットインしている場合
翼端のクリアランスが確保できないため、#5にコードE航空機
をスポットインすることはできません。

注記 5。#4の導入線8mシフト時は翼端のクリアランスが確保できない
ため、#5に航空機をスポットインすることはできません。

注記 6。上記航空機と搭乗橋の装着は確認していますが、給油ピット等
グラウンドサービスおよびは隣の小型機用駐機エリアの運用等は
考慮しておりません。

注記 7。左図の航空機停止位置が既存停止位置と異なる場合、停止線の
引き直しが必要になります。

代表となる設計者
一級建築士
第364188号
山下 太郎

JAC・松田平田・MA設計共同企業体
株式会社 日本空港コンサルタンツ
株式会社 松田平田設計
株式会社 M A 設計事務所

APPROVED BY

DATE

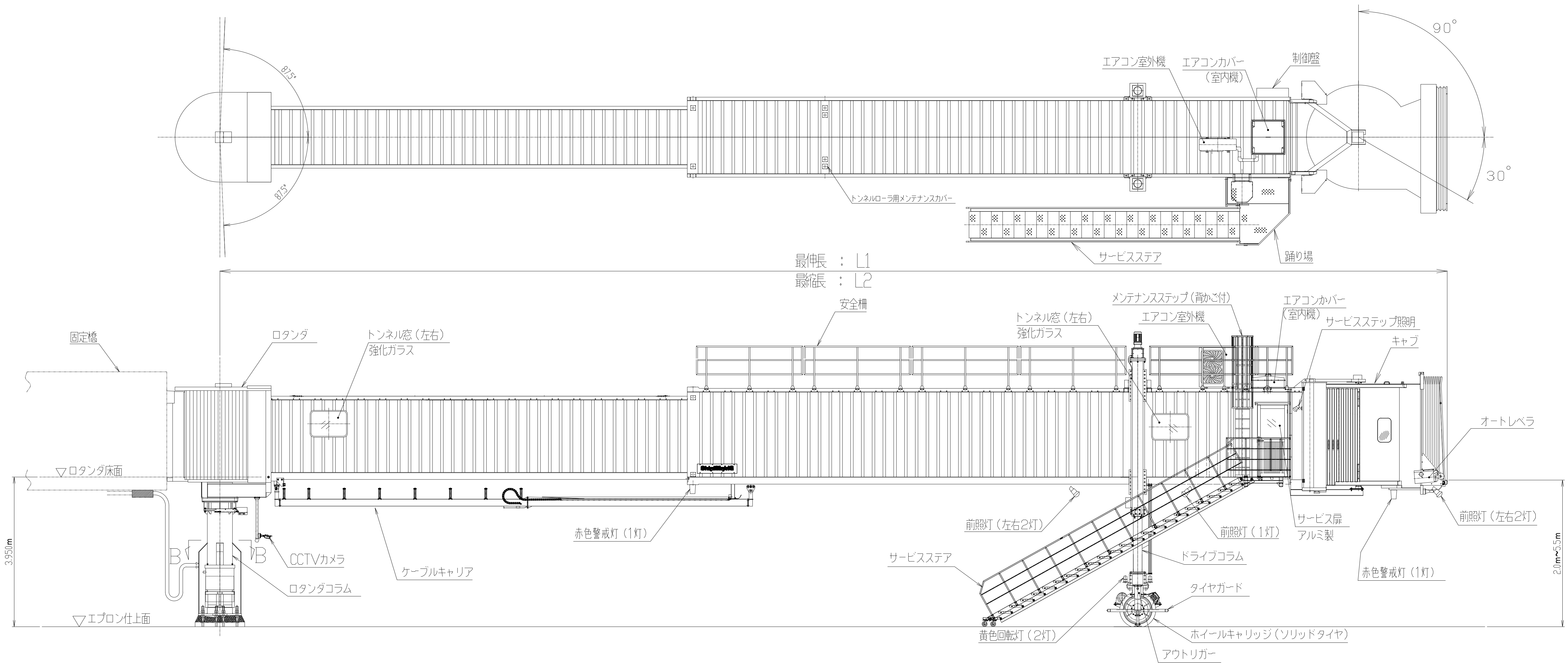
CHECKED BY

DRAWN BY

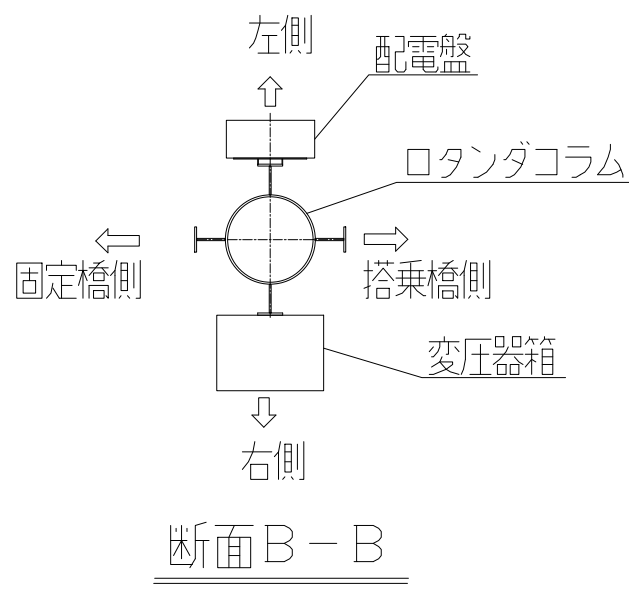
SCALE

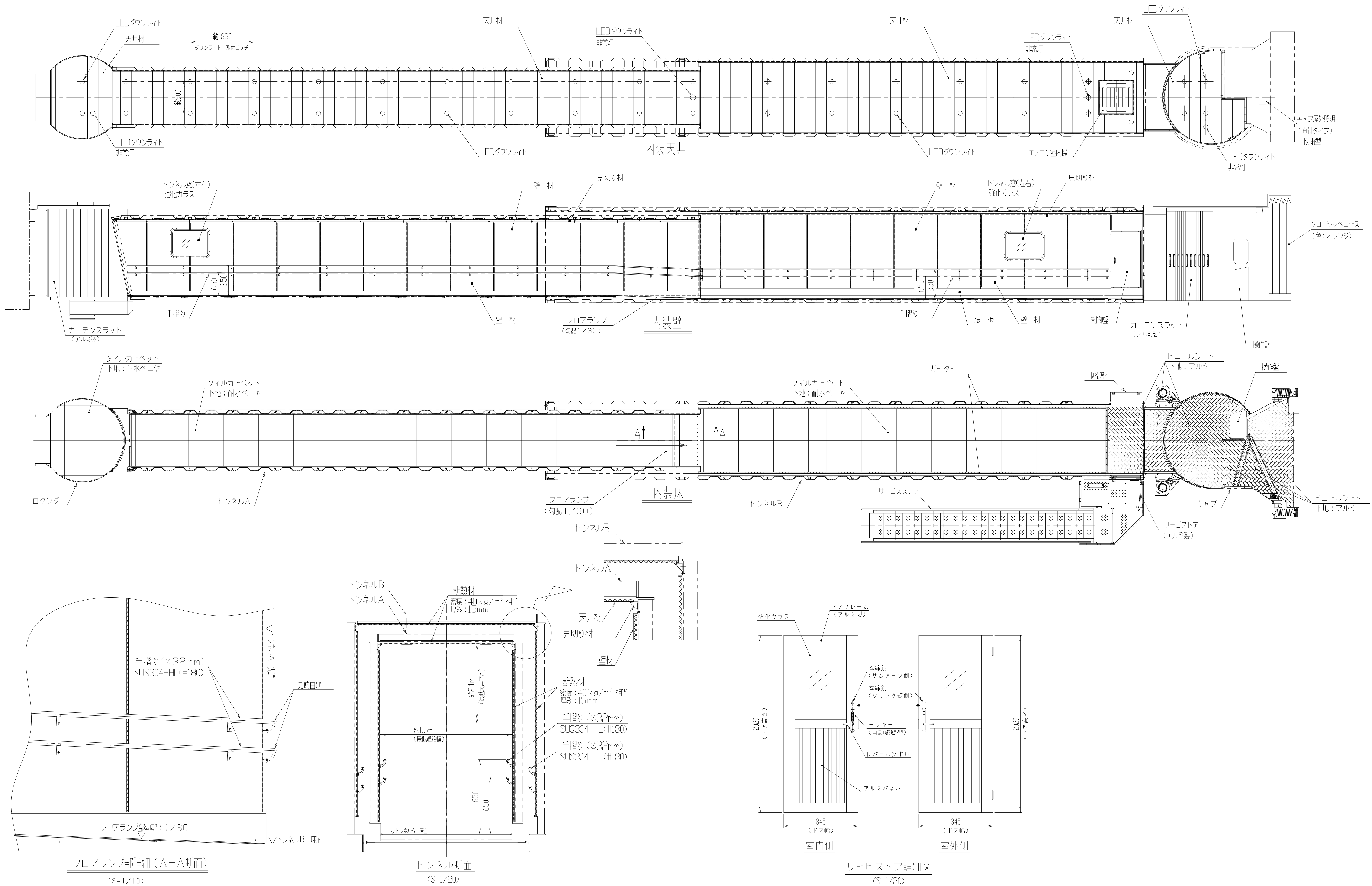
SUBJECT 高知龍馬空港新ターミナルビル特殊設備（PBB）

DRAWING #5 PBBレイアウト検討図 NO. - 02



主 要 仕 様		
最伸時長さ：L1 (m)		27.9
最縮時長さ：L2 (m)		19.5
キャブ先端高さ (m)	最 高	5.5
	最 低	2.0
ロータunda回転角度		左87.5°・右87.5°
キャブ回転角度		左90°・右30°
ロータunda床面高さ (m)		3.950





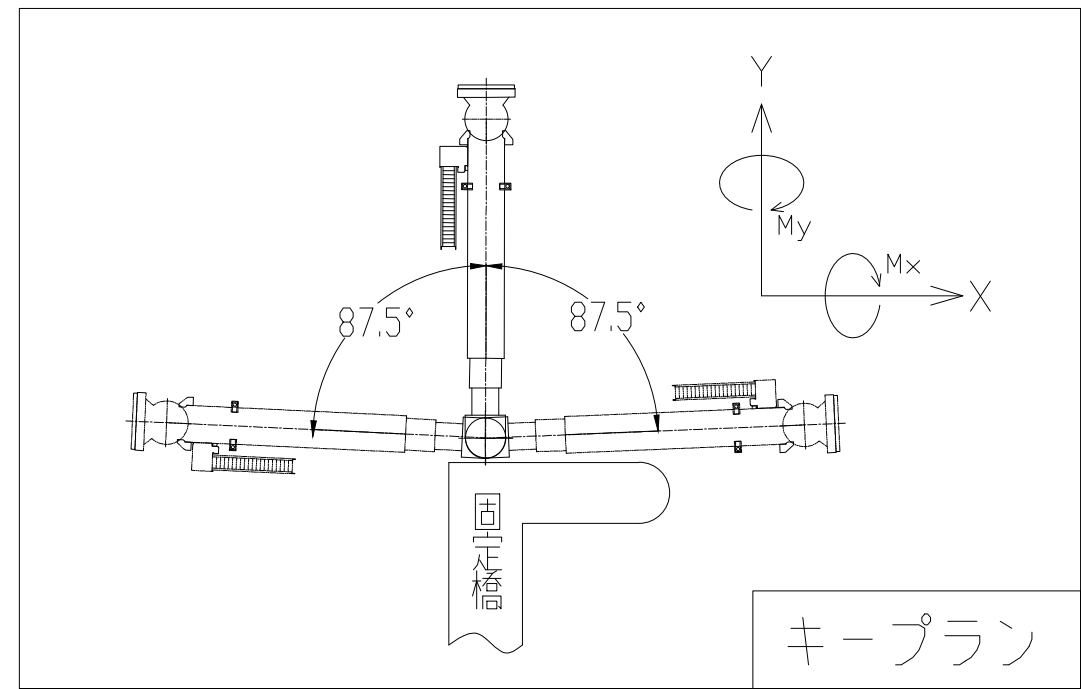
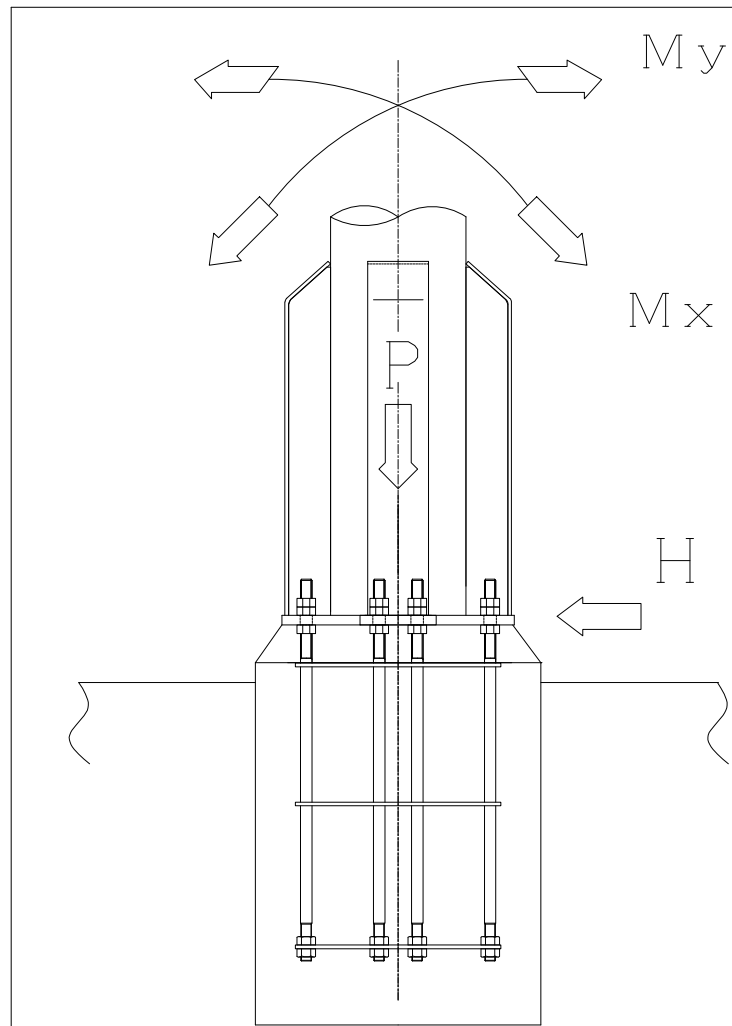
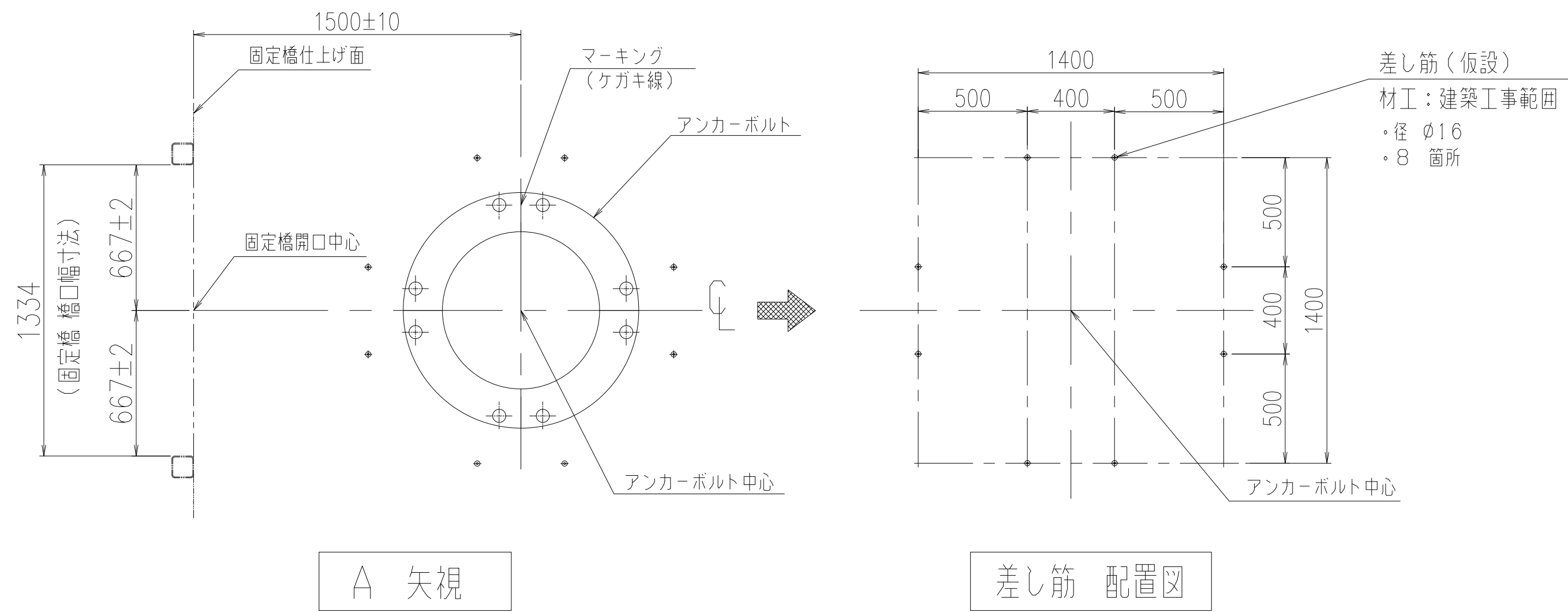
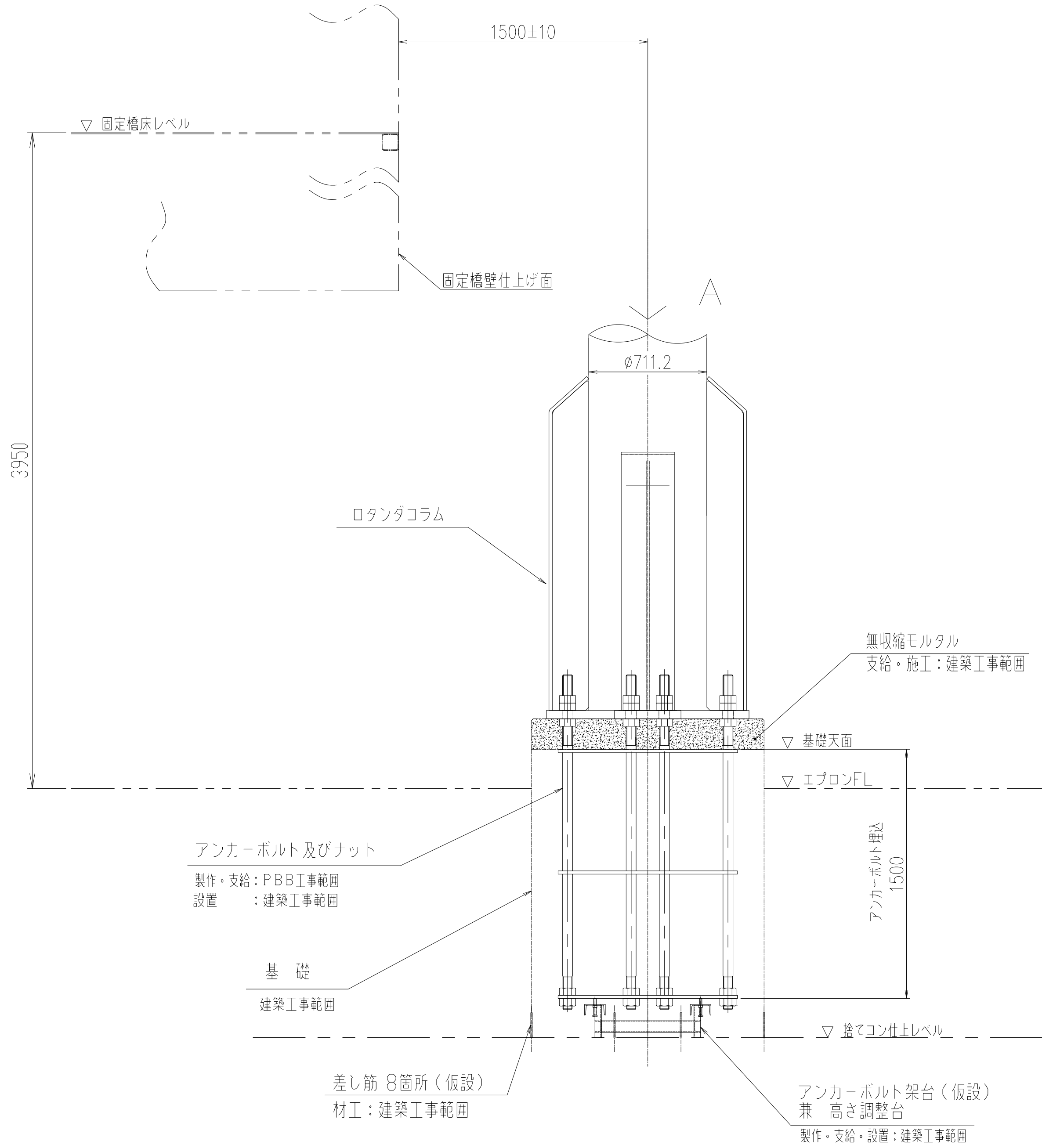
代表となる設計者
一級建築士
第364188号
山下 太郎

JAC・松田平田・MA設計共同企業体
株式会社 日本空港コンサルタンツ
株式会社 松田平田設計
株式会社 M A 設計事務所

APPROVED BY
CHECKED BY
DRAWN BY

DATE
SCALE

SUBJECT 高知龍馬空港新ターミナルビル特殊設備 (PBB)
DRAWING PBB内装意匠図 NO. - 04

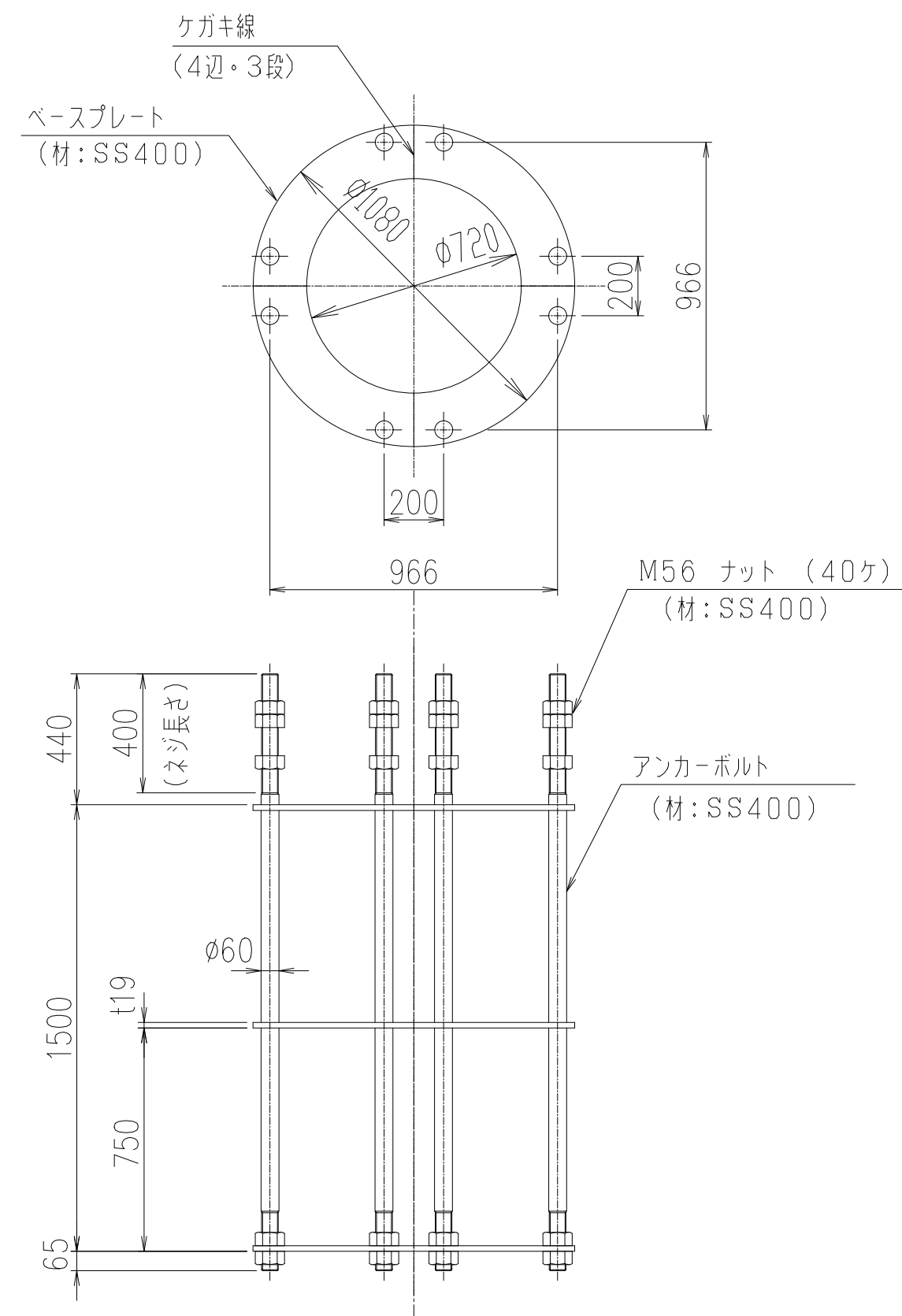


注記：搭乗橋は、約180度回転するので M_x が M_y に、 M_y が M_x に変わります。

荷重条件	
運用可能最大風速	25m/s
収納時瞬間最大風速	60m/s
床 面 荷 重	200kg/m ²
屋 根 荷 重	60 kg/m ²
水 平 震 度	0.30G
鉛 直 震 度	0.15G

荷重条件	P (kN)	Mx (kN・m)	My (kN・m)	H (kN)
1 最伸時自重	91.0	44.1	24.3	
2 最縮時自重	75.7	23.2	24.3	
3 最伸時自重床活荷重	35.7	38.3	12.8	
4 最伸時屋根荷重	18.7	-7.4	6.4	
5 最縮時屋根荷重	7.5	18.7	6.4	
6 最伸時風荷重			108.8	20.7
7 最縮時風荷重			459.9	87.6
8 地震荷重	19.9	176.0	454.4	89.4

基礎荷重



アンカーボルト詳細

質量：約1000kg

代表となる設計者

一級建築士

第364188号

山下 太郎

JAC・松田平田・MA設計共同企業体

株式会社 日本空港コンサルタンツ

株式会社 松 田 平 田 設 計

株式会社 M A 設 計 事 務 所

APPROVED BY

CHECKED BY

DRAWN BY

DATE

SCALE

SUBJECT 高知龍馬空港新ターミナルビル特殊設備（PBB）

DRAWING アンカーボルト詳細・基礎荷重図 NO. - 05